

三郷市まちづくり委員会第1回会議 会議録

開催日時	令和7年2月21日(金) 15:00~16:55	
開催場所	三郷市役所 本庁舎6階 全員協議会室	
出席者	委員	篠宮委員、大山委員、恩田委員、加藤委員、山口委員、神谷委員、安書委員、茂木委員、鷹委員、水落委員、黒澤委員、池上委員、佐々木委員、荒尾委員、後閑委員(15人/15人)
	三郷市	木津市長 日暮企画政策部長、平川総務部長、松本危機管理監、妹尾財務部長、小暮市民生活部長、田中地域振興部長、益子いきいき健康部長、横田福祉部長、須賀こども未来部長、相馬建設部長、城津まちづくり推進部長、田口会計管理者、浮田水道部長、山本消防長、菅原学校教育部長、梅澤生涯学習部長、島村議会事務局長、萩原行政委員会事務局長
	事務局	企画政策部 谷口副部長 企画政策課 伊藤課長、斉藤課長補佐兼企画調整係長、松島主幹兼政策係長、横田主査、渡邊主事 (株)富士通総研行政経営グループ 東行政経営グループ長、石丸コンサルタント
傍聴者	0名	
公開又は非公開の別	公開	
議題等	1. 開会 2. 委嘱書交付 3. 市長あいさつ 4. 委員紹介 5. 委員長及び副委員長の選出について 6. 委員長及び副委員長あいさつ 7. 諮問 8. 協議事項 (1) 三郷市まちづくり委員会の公開について 9. 報告事項 (1) 第5次三郷市総合計画後期基本計画策定方針について (2) 第5次三郷市総合計画前期基本計画等の実績報告について (3) 市民意見聴取等の実施状況の報告について 10. その他 (1) 地域再生計画について (2) 今後のスケジュールについて 11. 閉会	
配布資料	次第 【資料1】三郷市まちづくり委員会条例 【資料2】まちづくり委員会会議公開規程(案) 【資料3-1】第5次三郷市総合計画 後期基本計画策定方針 【資料3-2】別紙1 総合計画と地方版総合戦略、行政改革に関する計画との一体的な策定	

	【資料3-3】別紙2 三郷市における人口推計と実人口の状況 【資料3-4】別紙3 第5次三郷市総合計画後期基本計画策定体制 【資料3-5】別紙4 策定スケジュール 【資料4】総合計画数値目標 進捗状況 【資料5】市民意見聴取等について 【資料6-1】企業版ふるさと納税の効果検証について 【資料6-1別紙】企業版ふるさと納税寄附実績一覧 【資料7】総合計画策定関係会議スケジュール 【参考資料】第18回三郷市市民意識調査報告書（概要版） 【参考資料】第18回三郷市市民意識調査報告書 【参考資料】第3回三郷市都市イメージ調査報告書の概要 【参考資料】小学生・中学生アンケート結果報告書 【参考資料】団体アンケート結果報告書 【参考資料】ワークショップ結果報告書 【参考資料】第5次三郷市総合計画（概要版）
--	---

【議事要旨】

1. 開会

2. 委嘱書交付

木津市長から各委員に委嘱書が交付された。

3. 市長あいさつ

平成18年の市長就任以来、『きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～』の実現に向け、様々な施策を進めてきた。

令和3年度に第5次三郷市総合計画前期基本計画を策定してから現在に至るまで、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化や、激甚化する災害への対応など、本市を取り巻く社会環境は日々大きく変化している。

このような変化に対応するため、令和8年度から5年間の市政運営の指針となる第5次三郷市総合計画後期基本計画を策定する。

策定にあたっては、市民の皆様、議会、企業、学校、行政と、様々な主体がそれぞれの役割に応じて、急速に進行する少子高齢化社会に対応し、市民の皆様にとって、より良い住環境づくりを目指し、本市が選ばれるまちとして成長し続けるための計画となることを目指す。

委員の皆様には、本市の将来のあるべき姿を展望した中で、忌憚のないご意見、ご提言を賜りたい。

4. 委員紹介

事務局より各委員を紹介した。

5. 委員長及び副委員長の選出について

委員の互選により、委員長は篠宮委員、副委員長は鷹委員に決定した。

6. 委員長及び副委員長あいさつ

●委員長挨拶

市長のご挨拶にもあったとおり、本委員会は今後5年間の市政運営の指針となる後期基本計画を審議、策定することを目的としている。

日頃から市政や市民活動に積極的に参加いただいている皆様にご協力をいただきながら進

めていきたい。

●副委員長挨拶

微力ながら、三郷市のまちづくりのため、委員長とともに協力していきたい。
皆様と共に、まちづくりに取り組んでいきたい。ご支援ご協力をお願いしたい。

7. 諮問

市長から篠宮委員長に対し、諮問書が交付された。

8. 協議事項

(1) 三郷市まちづくり委員会の公開について

事務局より、資料2に基づき三郷市まちづくり委員会の公開について説明。

委員からの質疑はなし。

採決の結果、事務局案のとおり決定。

当日のまちづくり委員会の傍聴希望者はなし。

9. 報告事項

(1) 第5次三郷市総合計画後期基本計画策定方針について

事務局より【参考資料】第5次三郷市総合計画（概要版）及び資料3-1から3-5に基づき、第5次三郷市総合計画の概要と後期基本計画の策定方針を説明。

これに関し、委員から主に次のような質疑・意見が出た。

①資料3-2「2. 現状の計画構成の課題」とは、誰にとってのどのような課題か。（黒澤委員）

⇒計画を活用する職員と計画を見る市民の双方にとって分かりにくいことが課題と感じている。（事務局）

②資料3-3の人口推計と実人口の状況では、令和2年と令和6年のみ提示されている。そのため、令和2年以前の実人口から傾向を掴まなければ判断が難しいと感じた。以前の人口データの提供をお願いしたい。（黒澤委員）

⇒本資料は令和元年度人口ビジョンから令和2年度と令和6年度の数字を抜粋して作成した。過去の数値も記載されている令和元年度版人口ビジョンについて、後日事務局から各委員に配布する。（事務局）

③第6次三郷市総合計画は次の10年の方針を定める計画であると思うが、いつ頃から検討を開始するのか。（神谷委員）

⇒第6次三郷市総合計画は令和13年度を初年度とすると見込まれる。これまでの総合計画では、2年間を検討期間として策定してきたことから、現時点では令和11年・12年の2か年で計画することを予定している。（事務局）

④第5次三郷市総合計画の基本計画において、前期と後期はどのくらいの連続性があるのか。また、後期計画での施策・取組の変更が可能であるのか。（鴈副委員長）

⇒参考資料「三郷市総合計画概要版」2ページに掲載されている内容が基本構想にあたり、10年間の計画として定められているため、この内容については、後期基本計画策定では変更しない。

そして、前期5年間で進めていきたい具体的な施策を3、4ページに前期基本計画として掲載している。この内容について前期の進捗を踏まえて、後期5年間でどのように進

めていくのかご審議いただきたい。(事務局)

(2) 第5次三郷市総合計画前期基本計画等の実績報告について

事務局より資料4に基づき第5次三郷市総合計画前期基本計画の数値目標の進捗状況を説明。

これに関し、委員から主に次のような質疑・意見が出た。

- ①指標の考え方について疑問がある。例えば、資料4の8ページ「福祉サービスに関する総合相談者の人数」が目標未達成となっているが、「相談を必要とする人が少ないから」なのか、「相談すべき人に届いていないから」なのかが判断することが困難と感じた。このように一概に乖離傾向とみなせない項目が多く見られるのではないかと感じた。この資料にある前期基本計画の進捗を踏まえて後期基本計画を考えていく必要があるが、現時点でデータの取り扱いが難しいと感じた。(鷹副委員長)

⇒市においても指標の設定方法は要検討事項であると考えている。

現在、各部署の担当者で構成された検討部会を設け、各施策の内容や指標の設定方法等を検証している。

案が出来上がり次第、各施策の内容や新たな指標をご提示した上でご審議いただきたい。(日暮企画政策部長)

(3) 市民意見聴取等の実施状況の報告について

事務局より資料5及び参考資料に基づき、市民意見聴取結果(市民意識調査、都市イメージ調査、小学生・中学生アンケート、団体アンケート、市民ワークショップの結果)及び調査結果の活用方法について説明。

これに関し、委員から主に次のような質疑・意見が出た。

- ①参考資料「小学生・中学生アンケート結果報告書」において、「三郷市が住みやすい」、「三郷市に愛着・誇りがある」との回答した児童生徒が7割程度いる結果である。これらの回答結果は他自治体と比較して割合が高いのか・低いのかを教えて欲しい。(山口委員)

⇒他自治体にて同様の調査が実施されているのか把握していないため、調査の上、次回ご報告する。(事務局)

10. その他

(1) 地域再生計画について

事務局より資料6-1及び資料6-1別紙に基づき、三郷市版総合戦略と連動している地域再生計画及び企業版ふるさと納税の寄附実績について説明。

これに関し、委員から主に次のような質疑・意見が出た。

- ①前提として、地域再生計画とまちづくり委員会との関係性を確認したい。(黒澤委員)

⇒三郷市では、地域再生計画と三郷市版総合戦略はほとんど同義(企業からいただく寄附の使途(事業メニュー)は、総合戦略に基づく事業であるため)である。

本会議の議題とした理由については、毎年度市民公募委員等を含めた会議で企業版ふるさと納税の寄附実績等を報告し、市で今後の施策や事業の拡充等を検討していくと地域再生計画に規定されていることから、議題とした経緯である。

現在の総合戦略は、後期基本計画の策定に伴い変更することを予定している。(事務局)

- ②企業版ふるさと納税の寄附額に目標値はあるのか。(山口委員)

⇒企業からの寄附という性質上、目標値は設定していない。(事務局)

(2) 今後のスケジュールについて

事務局より資料7に基づき、今後の会議スケジュールについて説明。
委員からの質疑はなし。

【全体を通しての意見】

①委員の中には事前に審議に向けて準備されたい方もいると思う。

より良い審議とするため、事務局から各会議の審議事項等については、早めにお知らせ
いただきたい。

また、今回事務局の方では、事前に電話で質問を募っていたが、電話だけでなくメール
等の間口を広げて受け付けていただきたい。(鷹副委員長)

⇒委員会資料は早期に配布するとともに、事前の質問事項の受付方法等について工夫し
てまいりたい。(日暮企画政策部長)

11. 閉会

鷹副委員長より、事務局に対し、市民目線でのわかりやすい資料作成・説明を求めた。ま
た、委員に対し、次回以降の会議における事前質問制度の活用を促した。

以上

上記内容について、相違ありません。

令和 7 年 4 月 16 日

委員長

篠 卓 尚

署名委員

大山 和 雄

署名委員

恩 田 節 子